

管理 No.106 【パクリタキセル+TS-1 併用療法】 2015 年 1 月 4 日作成

疾患名： 進行・再発胃がん 1クール： 21日 総クール数： PDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
パクリタキセル	パクリタキセル注	50 mg/m ²	Day1,8	骨髄抑制(好中球減少、白血球減少など)、過敏症、末梢神経障害、血圧低下
S-1	ティーエスワン	80 mg/m ²	Day1-14	血液毒性(グレード3以上)、消化器症状(グレード2以上)

2. レジメン

投与日	Rp	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1-14		内服(1日2回)		ティーエスワン	80 mg/m ²	
Day1,8	1	点滴静注	30分	ファモチジン(20mg) デカドロン(3.3mg/1mL) 生食 50mL	1A 2A	点滴中に レスタミンコーワ錠 5錠 内服
Day1,8	3	点滴静注	60分	パクリタキセル「サンド」 5%ブドウ糖液 250mL	50mg/m ²	

3. 初回投与基準及び同一クール内投与基準

(投与前日または当日に下記条件を満たさない場合は下記条件に回復するまで延期する。)

- (1) PS規定: PS 0~2
- (2) ヘモグロビン \geq 9.0g/dL、白血球数 3,500~12,000/mm³、好中球数 \geq 2,000/mm³、血小板数 \geq 10万/mm³
総ビリルビン \leq 1.5 mg/dL、AST、ALT \leq 2 \times 施設の正常値上限
クレアチニン \leq 2 \times 施設上限値、BUN \leq 25mg/dL
発熱、CRP上昇あるいは白血球増加(\geq 12000/ μ L)等の感染兆候なし
- (3) 心電図正常(心疾患、重篤な不整脈がない)

4. 休薬基準(休薬を考慮する値・症状など)

- (1) 白血球数 $<$ 2000/mm³、好中球数 $<$ 1000/mm³、血小板数 $<$ 7.5万/mm³、AST、ALT $>$ 150 IU/L
クレアチニン \geq 1.5mg/dL
- (2) グレード2以上の下痢、口内炎
- (3) 上記以外の非血液毒性グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労 除く

5. 減量基準(以下の値、症状が出現した場合、次回再開時減量を考慮する。)

ティーエスワン減量基準

- (1) 白血球数 $<$ 1000/mm³、好中球数 $<$ 500/mm³、血小板数 $<$ 5万/mm³
AST、ALT \geq 200 IU/L、クレアチニン \geq 1.5 \times 正常値、(クレアチニンクリアランス \geq 60ml/min、30~40ml/minの場合 2段階減量)
- (2) グレード3以上の下痢、口内炎

パクリタキセル減量基準

- (1) 白血球数 $<$ 1000/mm³、好中球数 $<$ 500/mm³、血小板数 $<$ 5万/mm³
- (2) 非血液毒性 グレード3以上 ※便秘、食欲不振、悪心、疲労を除く

TS-1 減量の目安	120mg/day \rightarrow 100mg/day \rightarrow 80mg/day \rightarrow 50mg/day
パクリタキセルの減量の目安	60mg/day \rightarrow 50mg/day \rightarrow 40mg/day \rightarrow 30mg/day